

年号	兵庫県助産師会	日本助産師会	法制・母子保健施策	社会一般
平成15 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県看護協会が新築移転予定→本会でも会館(事務所)プロ ・次年度本部総会(神戸開催予定)の準備 <p style="text-align: right;">会員 240名</p>	5月 会長に近藤潤子氏就任 6月 「子育て・女性健康支援センター」全国47支部に設置 7月 「次世代育成支援対策推進法」成立	5月 健康増進法が施行される 7月 「次世代育成支援対策推進法」成立 7月 「性同一性障害の性別の取り扱いの特例に関する法律」成立	1月 第65代横綱貴乃花が引退 2月 スペースシャトル・コロンビア号爆発 宇宙飛行士全員死亡 3月 アメリカ・イギリスによるイラク侵攻作戦開始(イラク戦争開戦) 4月 SARS(重症急性呼吸器症候群)が、新感染症に指定される 4月 イラクの首都バグダッドが陥落し、フセイン政権が崩壊する
平成16 (2004)	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県支部長に中井恭子氏就任 ・支部総会を本部総会前に実施(前年度までは本部総会後に実施) ・社)日本助産師会通常総会、第58回日本助産師学会を神戸にて ・神戸市性教育事業(デリバリー事業)の開始 <p style="text-align: right;">会員 233名</p>	1月 男性助産師導入に関して「社団法人総会決議無効確認等請求事件」和 5月 全支部に「安全対策委員会」設置 8月 国内における「助産学の大学院修士課程の奨学金貸与制度」開始 8月 「助産所業務ガイドライン」配布・販売	2月 「兵庫県立総合衛生学院助産学科の存続を求める会」発足 4月 「特定不妊治療費助成事業」開始 4月 天使大学(札幌)に日本初の助産師の専門職大学院開校 4月 医師の新臨床研修制度の開始	1月 山口県内の養鶏場で鳥インフルエンザが発生する 2月 陸上自衛隊の派遣本体第1陣がイラク南部のサマワに到着する 8月 アテネオリンピックが開幕する 10月 新潟県中越地震 11月 新紙幣発行 12月 スマトラ島沖地震が発生する(マグニチュード9.3)
平成17 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年に看護協会移転予定→、兵庫県看護教育センター内の本会事務所の整理 ・兵庫県支部の会報発刊 ・「健康ひょうご21」の助成金にて「食」をテーマに宝塚市、神戸市、三田市で研修会開催 <p style="text-align: right;">会員 236名</p>		4月 神戸市看護大学に日本初の助産学専攻科開校 7月 「母体保護法」第39条1項改正	2月 京都議定書が発効 3月 愛知県で愛・地球博覧会が開幕 3月 インドネシアのスマトラ島西方でM8.7の地震 4月 個人情報保護法が施行される 4月 「JR福知山線脱線事故(JR尼崎脱線事故)」 6月 アスベスト(石綿)による健康被害が公表される 7月 ロンドンで同時爆破テロ発生、56人が死亡する 10月 郵政民営化関連法案が成立する 11月 横綱・朝青龍が史上初の7連覇と年間6場所完全制覇を達成
平成18 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> ・母子会館を借用し本会事務所開設 ・本会の事務所建設委員会立ち上げ 10月 花隈(現住所)に、本会事務所を購入し開設 <p style="text-align: right;">会員 237名</p>	2月 看護師による「妊婦への内診」に関連して厚生労働大臣に要望書提出 5月 専務理事に岡本喜代子氏が就任 8月 「助産師の声明」完成 ・「思春期教育指導マニュアル」を改訂増刷 ・「助産師が行う災害時支援マニュアル」改定版発行 ・「社団法人日本助産師会手帳(平成19年度版)」作成 ・日本助産師会メーリングリスト開設	2月 福島県立大野病院産科医逮捕事件 3月 マタニティマークを選定 3月 「健やか親子21」中間評価検討会で妊産婦のための食生活指針発表 8月 神奈川堀病院で看護師の内診を行ったとして摘発される 10月 大淀町立大淀病院事件がニュースで流れる	1月 「ライブドアショック」 2月 トリノ(イタリア)で冬季オリンピック開幕。 3月 第1回WBCで王貞治監督率いる日本が優勝 6月 村上ファンドの村上世彰代表がインサイダー取引で逮捕 9月 秋篠宮紀子さまが「悠仁(ひさひと)」さまをご出産 9月 安倍晋三氏が第90代内閣総理大臣、安倍内閣が誕生 12月 イラクのサダム・フセイン元大統領の死刑が執行される
平成19 (2007)	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療法」一部改正により県に嘱託医療機関確保の働きかけ ・事務職員の採用 <p style="text-align: right;">会員 294名</p>	3月 本部事務局。日本助産師会館(台東区鳥越)に移転 5月 創立80周年記念式典(東京)皇后殿下、秋篠宮妃殿下をお迎えして開催 ・日本助産師会のパンフレット・リーフレットの完成 ・名誉会員推薦に関する規定の完成	3月 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課より「授乳・離乳の支援ガイド」配布 4月 「医療法」の一部改正(19条により助産所開設者は嘱託医師と嘱託医療機関を定めることとなった)の施行 5月 熊本市の病院で「赤ちゃんポスト」運営開始	1月 防衛省発足 1月 宮崎県知事に東国原英夫氏当選 2月 第1回東京マラソン 6月 石見銀山が世界遺産に決まる 10月 郵便局(日本郵政公社)の民営化 12月 「ねんきん特別便」発送開始
平成20 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師のちからアップ研修コースを立ち上げる(助産所部会) ・県内12カ所の有床助産所が県内3病院の嘱託医療機関確保 ・ベビーマッサージ講師養成研修の開催(保健指導部会) ・会費7千円から1万円に値上げ、入会費は5千円。 <p style="text-align: right;">会員 304名</p>	1-3月 「子育て・孫育て講座」の実地 ・受胎調節実地指導員認定研修会を開催 ・各県単位で助産所の安全に関する第3者評価実施	厚労省「院内助産所・助産師外来施設整備事業」開始 3月 日本助産学会学術集会(神戸ポートピアホテル) 6月 第28回ICM大会の開催(英グラスゴー) 7月 EPA協定にて、インドネシア、フィリピンの看護師候補生受け入れ	1月 大阪府知事に橋下徹氏 2月 カス暴行事件で親方、兄弟子3人が逮捕 6月 秋葉原無差別殺傷事件 9月 北京オリンピックが開幕 9月 リーマン・ブラザーズ経営破たん

年号	兵庫県助産師会	日本助産師会	法制・母子保健施策	社会一般
平成21 (2009)	<p>・妊婦健康診査の公費助成は助産所もシステム利用可能</p> <p>7月～「助産師のちからアップコンパクト版」研修</p> <p>10月 近畿ブロック講習会(兵庫県私学会館)</p> <p>・新生児蘇生法の実技フォローアップ研修の開催(助産所部会)</p> <p style="text-align: right;">会員 319名</p>	<p>3月 全国助産院マップ2009年度版発行</p> <p>5月 会長に加藤尚美氏が就任</p> <p>5月 助産師のコア・コンピテンシーが総会で承認</p> <p>5月 助産所業務ガイドラインの改訂・配布</p> <p>・「親子ふれ愛」ガイドブックの発行</p> <p>・「孫育て講座」のガイドラインおよびテキストの作成と配布</p> <p>・本会の教育制度がポイント制に変更</p> <p>9月 本館5階に「とりこえ助産院」を開設</p>	<p>1月 産科医療補償制度の開始</p> <p>3月 乳児家庭全戸訪問事業(こんには赤ちゃん事業)のガイドライン策</p> <p>4月 妊婦健康診査の公費助成開始</p> <p>6月 NPO法人日本助産評価機構の助産所機能評価事業がスタート</p> <p>7月 改正「保健師助産師看護師法」「看護師等の人材確保の促進に関する法律」成立 (看護師の国家試験受験資格に「大学卒業者」明記、保健師・助産師の教育年限が6カ月以上から1年以上に延長へ、卒後臨床研修が努力義務化)</p> <p>9月 神戸市 佐野病院が院内助産科閉鎖(分娩取扱い中止)</p> <p>10月 出産一時金が42万円に変更。</p> <p>12月 イクメンはユーキャン新語・流行語大賞</p> <p>12月 子宮頸がん(HPV)ワクチン接種開始</p>	<p>1月 バラク・オバマ氏が第44代アメリカ合衆国大統領に就任</p> <p>4月 北朝鮮が「弾道ミサイル」を発射</p> <p>5月 裁判員制度がスタート</p> <p>9月 民主党・鳩山代表が第93代内閣総理大臣に決まる</p>
平成22 (2010)	<p>・兵庫県支部長に小坂素子氏就任</p> <p>・周産期医療協議会に加入</p> <p>・定款委員会の立ち上げ</p> <p>・支部ホームページの開始</p> <p style="text-align: right;">会員 325名</p>	<p>6月 株式会社日本助産師会出版の発足</p> <p>7月 「ビタミンK投与に関する日本助産師会の方針について」(会員向けHP)</p> <p>9月 「ビタミンK2シロップ投与とホメオパシーの使用に関する実態調査」の実</p> <p>9月 「ホメオパシー問題について」緊急研修会開催</p> <p>9月 「災害対策セミナー」の開催(石川県、東京都)</p>	<p>10月 「ヒトT細胞白血病ウィルス1型(HTLV-1)抗体検査の公費負担開始</p> <p>10月 全国助産師教育協議会が公益社団法人として認定</p>	<p>1月 ハイチ大地震で自衛隊派遣</p> <p>2月 バンクーバー冬季オリンピック開催</p> <p>2月 チリで大地震 日本で17年ぶりに大津波警報</p> <p>5月 上海万博が開幕</p> <p>5月 宮崎県で口蹄疫による非常事態宣言</p> <p>6月 「はやぶさ」が7年ぶりに帰還</p> <p>6月 民主党党首に菅直人氏 菅新内閣が発足</p> <p>8月 チリ鉱山で落盤事故 33人生き埋めに 10月に全員救出</p> <p>9月 沖縄・尖閣諸島沖で中国漁船と海上保安庁の巡視船が衝突</p> <p>11月 ミャンマーでアウンサンスーチーさん解放</p>
平成23 (2011)	<p>1～2月「ホメオパシー問題に関する緊急研修会」の開催</p> <p>東日本大震災支援</p> <p>東日本大震災の有床助産所ボランティアとして登録(県下8か所)</p> <p>子育て応援協定締結</p> <p style="text-align: right;">会員 335名</p>	<p>3月 被災会員への支援、被災地の助産師による母子ケア活動支援</p> <p>3月 東北地方太平洋沖地震対策本部の設置</p> <p>5月 会長に岡本喜代子氏が就任</p> <p>・「母乳育児支援業務基準 乳腺炎」をまとめる</p>	<p>3月 新生児マス・スクリーニングのガスリー検査がタンデムマス検査に変更</p> <p>4月 出産育児一時金等の直接支払制度に受取代理制度が導入</p> <p>6月 第29回ICM大会の開催(南アフリカ、ダーバン)</p> <p>9月 ホワイトリボン・ジャパンの発足</p>	<p>2月 NZカンダベリー地震(ニュージーランド)</p> <p>3月 東北地方太平洋沖地震</p> <p>3月 九州新幹線 博多-新八代間開業</p> <p>4月 イギリスで、ウィリアム王子とキャサリン妃が挙式</p> <p>7月 2011 FIFA女子ワールドカップドイツ大会、女子日本代表初優勝</p> <p>8月 野田首相誕生</p> <p>10月 タイ大洪水、トルコ地震</p> <p>10月 米アップルのスティーブ・ジョブズ前CEOが死去</p> <p>12月 金正日死亡(北朝鮮)</p>
平成24 (2012)	<p>2月～定款説明会(豊岡、姫路、神戸、尼崎)</p> <p>4月 法人化会長、理事選挙</p> <p>5月 会長 岡田浩子氏就任</p> <p>5月 一般社団法人に移行</p> <p>8月 緊急セミナー開催</p> <p>11月 創立80周年記念式典・祝賀会開催(於:神戸ポートピアホ</p> <p style="text-align: right;">会員 345名 (2015年3月末現在)</p>	<p>5月 創立85周年記念式典開催(千葉県)</p> <p>5月 公益社団法人に移行</p>	<p>・母子健康手帳改正(妊娠経過記載欄の拡充、便カラーカード添付、成長発達の達成時期を記載する形式に変更など)</p> <p>9月 ポリオ予防接種方法の変更</p> <p>10月 「早期母子接触の留意点について」関連学会よりコメントされる</p> <p>11月 四種混合ワクチン接種へ</p>	<p>1月 野田改造内閣発足</p> <p>5月 金環日食、932年ぶり広範囲観測</p> <p>5月 東京スカイツリー開業</p> <p>7月 ロンドン五輪、史上最多のメダル38個</p> <p>9月 尖閣国有化で日中関係悪化</p> <p>10月 ノーベル生理学・医学賞に山中教授</p>